南山っ子通信

長崎南山小学校
学校生活だより
令和４年２月号
担当〔山田〕
NO.108

いつも喜んでいなさい，絶えず祈りなさい，すべてのことに感謝しなさい

カトリックの司祭を養成する神学院という教育機関があります。中学生・高校生が学ぶ小神学院と大学生以上が学ぶ大神学院とに分かれているようです。そこでは，指導する司祭団のもとで神父様になりたいと望んでいる学生たちが共同生活を送っています。

以前，小神学院の校長神父様とお話をする機会がありました。その際に，神父様から，

「神学院で最も大切にしていることは何だと思いますか？」

と質問されました。

・司祭になるための心構えを学ぶことかな？
・神学を学ぶことかな？
・宣教する方法を学ぶことかな？

などと思いつくいくつかのことが頭に浮かんできましたが，校長神父様から返ってきた答えは意外なことでした。それは，

「一人のときでも祈れる人間に育てることです」

というのです。司祭になる前に一人前の信者でなければならない，そのための信仰者を養成すること，ごく当たり前のことですが，信者としての基本を大切にしている神学院の教育方針を伺って，なるほどなと感心させられました。

神父様のお話では，最後まで信念を貫いて司祭になる人はホンの一握り，長い神学生生活の中には，途中で召命を他の道に見出したり目標を見失ったりして神学院をやめてしまう学生も多いということです。そういった学生がそれぞれ自分の教会に帰り，やがて大人になってからも教会のため，人のために役に立つ信者であるためには，やはり祈る姿勢を身に付けていなくてはならない，神学院では学生たちが歩む様々な将来のことも考慮して教育・指導に当たっているとのことでした。

南山小学校の６年生が卒業式を迎えるまでに残り４週間を切りました。これまで，聖堂や教室で神父様やシスター，先生方から神様の教えについて話を聞き，クラスの仲間といっしょに手を合わせ，共に祈る機会を何度も何度もくり返し経験してきた子どもたちです。この子どもたちも，中学生になり高校生になり，やがては大学に進んだり社会人として生活していくことになります。その中で，思い通りにいかなくて困難にぶつかったり挫折を味わったり，あるいは悲しい出来事に直面したりして孤独感を感じたりすることもあるかもしれません。そういったときに，小学生の頃に経験した「祈ること」を思い出し，静かに手を合わせ，神様に心を向けることができたらどんなにか救われることでしょう。

南山小学校を創立されたウイゼン神父様は，度々，新約聖書の「テサロニケの信徒への手紙」の一節を引用して子どもたちに話をしてくださっていました。それは，

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべてのことに感謝しなさい。」

という聖書の言葉です。

長い時間が過ぎていくうちには「主の祈り」や「アヴェ・マリアの祈り」の言葉の細かい部分までは忘れてしまうこともあるかもしれませんが，南山小学校で学んできたことを大切にし，また神様がいつもそばにいてくださることを忘れないで，一人のときでも祈れる卒業生であって欲しいと思います。

コロナ禍にあって

３密やソーシャル・ディスタンスに始まって，濃厚接触，飛沫感染，クラスター，オンライン，リモート授業，無観客，分散登校，黙食，孤食，臨時休校，PCR 検査，不要不急の外出，ワクチン接種，まん延防止重点措置など，以前はあまり使われなかった言葉がコロナ禍では日常語となっています。オミクロン株による感染のピークは過ぎたように報道されていますが，新型コロナウイルスは，いつ収束するのか，終息が有り得るのか，まだまだ心配は続きます。

先日実施した学校評価の保護者アンケートでは，例年の２～３倍以上にも及ぶ多くの気づきや感想のコメントが寄せられました。それらの大半は，新型コロナウイルス感染症に関わるもので，建設的な意見を多くいただきました。

・兄弟姉妹が通う園や学校で休園や学級閉鎖などがあった場合の登校の基準についての意見
・今年度も実施されなかった授業参観や学級懇談会についての意見
・無観客で行われた運動会やなわとび大会についての意見
・オンラインによる授業の実施についての意見

保護者の皆様から寄せられた多くの声の中には，工夫次第で早めに応えられそうなものもありました。また実現するためには，多くの整備や準備，協力，練習などが必要なものもありました。特に，ネット配信に関わるものは最新の注意が必要となりますので，今後慎重に検討しながら計画を進めていきたいと考えています。

アンケートへのご協力，ありがとうございました。コロナ禍はまだまだ続きますが，ますますのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

♧♧ 教室紹介 ♧♧

２年２組　担任　伊東　亮 先生

学び合い・支え合い・高め合い・聴き合い・書き合いなど，様々な「あい」を力にして，友達といっしょに育つ学級を目指してきました。できないことはみんなで助け合う「愛の心」も大切にしながら大きく成長してきた２年２組の子どもたちです。

自己主張が強い子，うまく自分を出せない子，ルールを大切にする子，羽目を外す子，個性豊かな子どもたちですが，お互いのよさを認め合うことが少しずつできるようになってきています。

体を動かすことが大好きな元気いっぱいの子どもたち。なわとび熱はまだまだ続いています。鬼ごっこも大好き，折り紙作りも大好き，活動意欲旺盛な子どもたちです。身のまわりの整理整頓，授業や給食の取りかかり，３年生になる準備も着々と進んでいます。

学習発表会では，英語劇「スイミー」を発表します。みんなで意見を出し合いながら台詞や動きを工夫して練習しています。お楽しみに！

♪聖歌「ぶどうの木」

※ぶどうの木　それは　わたし　あなたたち　それは　枝　主のみことば

1　枝がつながっていなければ
芽も出ない　実もならない　かれてしまい　やかれるだけ　※

2　枝がつながっているならば
手入れされ　実をむすぶ　豊かになり　みなよろこぶ　※